

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 101

所管部局	日吉支所	所管課	地域総務課	担当者名	小島 融
事業名	駅関連施設管理運営費			事業分類	施設管理費
細事業名	胡麻コミュニティセンター管理運営費			政策体系	322
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 10.交通		

## 1. 事業の概要

指定管理者の管理運営により、コミュニティスペースを活用し、喫茶コーナー、物販コーナー、展示コーナーを開設し、多くの利用がある。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

- ・胡麻駅コミュニティセンター  
地域住民の交流推進と福祉の増進を図るため。
- ・胡麻駅前広場  
公衆の利便に供するため。
- ・胡麻駅前駐車場  
胡麻駅と同駅前商店街の利用者の増加と利便性の向上を図るため。

### ②事業を実施する必要性

- ・胡麻駅コミュニティセンター  
京都市等への通勤通学者や観光客などのJR利用者及び地域住民の利便性向上を図るため本駅を維持し、あわせてNPO法人の活動の場を提供し、地域活性に寄与するものです。
- ・胡麻駅前駐車場  
日吉町内からの駅利用者（主に通勤等）の増加と利便性の向上を図るため駐車場の設置を行うものです。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	4,282	7,601	4,057	4,040	4,164	4,164	4,164
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	1,505	1,458	1,422	1,347	1,246	1,246
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,777	6,143	2,634	2,694	2,918	2,918
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.34	0.12			
人件費	千円	—	—	2,204	851			
事業費総額	千円	—	—	6,261	4,892			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

胡麻コミュニティセンター電気料金（光熱水費）	1,527,601円
胡麻コミュニティセンター指定管理料（委託料）	1,000,000円
胡麻郵便局設置敷借上料（使用料及び賃借料）	746,100円

## 5. 事業結果の概要

施設の照明等に係る年間の電気代  
胡麻コミュニティセンターの指定管理の協定を締結し、施設の管理運営を委任した。  
郵便局の敷地を西日本旅客鉄道株式会社から借り受け、芦田昌徳様に貸し、郵便局用に提供した。

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
<b>(1) 駅利用</b>		
胡麻駅の通勤通学者等による利用	年間	平成20年1日当たり乗車人員 349人(降車客含まず)
<b>(2) 指定管理</b>		
胡麻コミュニティセンター内の多目的ホール等を指定管理制度により管理を委任し、主に日吉町に関する物産の販売、飲食の提供が行われた。毎週土曜日には『胡麻の野菜の宝島』として地元胡麻の農産物販売が行われた。	年間	指定管理：NPO胡麻地域振興会 年間利用者 不明
<b>(3) 敷地賃貸</b>		
郵便局の敷地をJRから借り受け、芦田昌徳様に貸し、郵便局用に提供した。	年間	年間利用者 不明
株式会社京都銀行のATM設置を許可した。	年間	年間利用者 (株)京都銀行 19,220人(月別平均利用件数から算出)
<b>(4) 駐車場</b>		
駐車場を年間契約等により貸し出した。	年間	利用者 年間契約 25人 一時利用 151人 稼働率 90%
<b>(5) イベント</b>		
駅前広場において『郷の駅 胡麻屋』開業二周年イベントを開催された。	平成21年4月4日	主催：NPO胡麻地域振興会 参加者：200人(概数)
駅前広場において『胡麻の夏2008』の祭りを開催された。	平成21年8月15日	主催：胡麻夏祭り実行委員会 後援：NPO胡麻地域振興会 参加者：400人(概数)

## 7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

指定管理者による特産物の販売等により、単なる駅施設だけでなく、地域の活性化に寄与している。コミュニティセンターだけでなく、他施設との一体的な指定管理制度の導入を検討する。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①事業執行に当たり、議論を重ねた点  
どうすればよりいっそうの利便性の向上が図れるかを議論した。
- ②当該事業のアピール事項  
指定管理者による特産物の販売等により、単なる駅施設だけでなく、地域の活性化に寄与している。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
コミュニティセンターだけでなく、他施設との一体的な指定管理制度の導入を検討する。